

全信協実務試験 合格体験記
—基礎実務試験編—

一般社団法人全国信用金庫協会

＜正職員への転換制度をきっかけに受験、朝とすきま時間をしっかり活用＞

- 育児と学習を両立
- eラーニングを活用
- 苦手科目：金融経済常識

関東地区 A信用金庫 入庫5年目 女性職員

私は現在入庫5年目の契約職員です。当金庫では、正職員への転換制度があり、希望者は基礎実務試験の合格が必須であるため、今回私は受験することにしました。

私が実際に試験**勉強を始めたのは、1か月前から**です。夜は睡魔との闘いとなるため、**毎朝4時から1時間半集中**してやりました。

試験まであまり時間がないので、ノートにまとめることはせずに、テキストの問題を解いては解説を見て確認、解答の正誤に関わらず毎回解説を読むようにしました。以下の方法は同僚から聞いたのですが、**テキストにある3年分の過去の問題を、同じ年の問題だけ最低でも3回続けて解いていくという方法**です。私も今回実践してみましたが、時間を空けずに繰り返すことによって着実に覚えていくことができました。繰り返すうちに、限られた時間の中で解ける問題数は当初に比べ格段に増えていきました。

このように「預金」「融資」「為替・手形交換」については、テキストを徹底して繰り返していきました。

私が最も苦手なのは「金融経済」でした。過去の問題はもちろんですが、**最近の経済については、新聞とニュースを日頃より意識して見るように心掛け**ました。

今回私は、**集中して時間の取れる朝はテキストを使い**ましたが、子供の送迎時などは、**すきま時間を使ってeラーニングも活用**しました。eラーニングはテキスト同様の出題形式の他に一問一答があり、テンポよく進められ、3年分の過去の問題が科目ごとにランダムに出題され、直後に得点も出るので一喜一憂し楽しみながらすることができました。また、途中でやめても、またそこから再開できるのもよかったですと思います。試験が近づくにつれ確実に合格点が取れるようになっていたので当日は自信を持って受験することができました。

今回の受験では、支店長をはじめ日頃より「勉強は進んでいる？」「わからない所は聞いて」と、役席者からの声かけがあり、また時間を設けて指導もして下さいました。**3日間を掛け支店長代理に2時間、次長に1時間自分の不安な分野を集中的に教えて頂きました。**このことは大変感謝しております。

合格した際に支店長より「**努力はウソをつかない！**」と言われた一言が今も心に残っています。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2：自分に合った学習方法を見つけましょう。苦手科目は、ポイントを絞るなど、自分なりに工夫して取り組みましょう。
- その3：時間を上手に使い、効率的に学習しましょう。すきま時間の学習には、eラーニングがおすすめです。
- その4：周囲のサポートも大切です。理解できない点は、勇気を出して聞いてみましょう。

< 苦手部分はポイントを押さえ、通勤時間のeラーニングでより効率的に学習 >

- eラーニングを活用
- ノート等を活用
- 苦手科目：融資

関東地区 B信用金庫 入庫2年目 女性職員

私は入庫2年目で、現在は窓口業務を担当しています。全信協の通信講座は、「初級職員講座」、「預金講座」、「為替・手形交換講座」を受講しました。通信講座と日常の業務で学んだ知識がどれだけ身につけているのかの確認として受験を決めました。

勉強を始めたのは、試験の約1か月前でした。平日はまとまった時間が取りにくいいため、**通勤時間を利用**しました。帰宅後も、**寝る前の1時間は勉強する**と決めて取り組みました。

私は、試験問題集のほかにeラーニングを利用していました。**eラーニングは**スマートフォンひとつで簡単に取り組めるので、**電車やバスの中でよく活用**しました。それに、問題の正解率が数字で表示されるので、自分の弱点を知ることができ、モチベーションを上げることに繋がりました。

学習方法として、**まずは過去問を一通り解いてみました。**

日常業務で馴染みのある「預金」や「為替・手形交換」の科目では、点数は低いものの解説を読めば理解することができたので、**苦手だったり曖昧になってしまっている知識を洗い出し、ポイントをノートにまとめる**ようにしました。まとめると言っても、なんでもかんでも書いている時間はないので、**問題集の解説にアンダーラインを引いて、なかなか覚えられない分はノートに書く**というふうにしていました。

馴染みのない「融資」は、問題すらよく分からない状態で、**用語の意味を先輩に聞いたり自分で調べたりすることから始め**ました。しかし、用語の意味や内容ばかり覚えていても点数は取れないので、**数多くの問題を解くことを大切に**しました。何度も解いていくうちに、どんなことを問われるのかが見えてくるので、**ポイントをおさえて暗記する**ようにしました。

「金融経済常識」は、最近の経済についても問われるので、**日頃から新聞やテレビなどで情報を集め関心を持つことが重要**だと思いました。また、FPの試験勉強で培った知識が役に立つこともありました。

今回の試験勉強を通じて、自分の実力を知ることができ、日常業務でも使える知識を習得することができました。これからも幅広い知識を身につけ、様々な試験に挑んでいきたいと思います。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：時間を上手に使い、効率的に学習しましょう。すきま時間の活用には、eラーニングがおすすめです。
- その2：苦手科目はポイントを絞るなど、自分なりに工夫して取り組みましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その3：問題を解くことで出題傾向が見えてきます。eラーニングの「一問一答」を活用することで、より効果的に学習することができます。

<自分の「できる」「できない」を理解し、ポイントを絞って学習>

- eラーニングを活用
- 苦手科目：融資

関東地区 C信用金庫 入庫3年目 女性職員

私は入庫以来現在まで、預金を担当しています。基礎実務試験の受験は、今回で2度目でした。1年目で初めて受験した際は残念ながら不合格でしたので、今回は必ず合格しようという気持ちで取り組みました。

私が勉強し始めたのは、試験の1か月ほど前からでした。

今までに担当した業務とそうでない業務があるため、**まずは過去問を解き、どのような問題が出るのか、自分の知識が浅い科目は何か把握**することに努めました。

特に、担当したことのない融資はわからないことが多かったので、この段階では正解できる問題数を気にせず、**わからない用語を通信講座のテキストを利用して調べたり、先輩に教えていただいたり**しながら理解を深めました。

預金や為替は日常業務であり感覚で解けてしまう問題もありましたが、**正しく人に説明できるレベルまで理解すること**を目標に、**解説やテキストを読み込み**ました。

過去問の2周目では、**わからない問題や正否の根拠を説明できない問題を探し、その問題だけを集中的に解きました。勉強時間は、予定がない平日に1時間程度**でした。

試験の2週間ほど前から、**移動時間や空いた時間を利用して、eラーニングに取り組み**ました。まとまった勉強時間がとれなくても、少しの時間をたくさん積み重ねることで、モチベーションを落とさない効果があったと実感しています。何日かかけて**一問一答を全て解き、わからない問題は過去問の解説に戻り復習**しました。一問一答は問題数が多く、1周するだけでも充分、反復学習となりました。**試験直前の1週間の勉強時間は、平日は2時間から3時間、休日も3時間程度**でした。

私が合格できたのは、**できる問題とできない問題を仕分けし、できない問題だけを潰していく勉強法が自分に合っていた**からだと思います。働きながら何時間も勉強するのは大変で、猛勉強というほどのことはできませんでしたが、毎日少しずつ効率よく知識を身につけ自分のものにしていくことで、点数に繋がったのだと思います。

今回、実務試験の勉強を通して、自分の知識不足、理解不足を痛感しました。わかっているつもりになっているものや、わからないもの、知らないものが多くありました。せつかく勉強して身につけた知識ですから、今後の業務に繋げていけるよう、日々努力していきたいです。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ取り組みましょう。すきま時間の活用には、eラーニングがおすすめです。
- その2：自分の経験の有無だけでなく、科目内の分野・問題単位で得意・不得意を見つけることで、よりポイントを絞りやすくなります。
- その3：自分に合った学習方法を見つけましょう。科目ごとにメリハリをつけることで、より効率的に学習できます。
- その4：単に問題を解くだけでなく、解説をよく読みましょう。基礎的な知識があれば、試験中回答に迷った際、選択肢を絞り込むことができます。

<空いた時間を上手に活用、短時間で集中して学習>

- ノート等を活用
- 苦手科目：融資
金融経済常識

東京地区 D信用金庫 入庫3年目

私は入庫3年目で現在主に窓口業務をしております。
当金庫では、全信協が主催している通信講座全てが必須となっております。
全信協実務試験は昇格するための資格の一部となっており、日々の業務に役立つことばかりです
ので、勉強して損は無いと思います。

私が試験**勉強を始めた時期は試験の約2か月前**です。

まず、一通り問題を解き、マーカーで線を引くことから始めました。「預金」や「為替・手形交換」
は業務の中で学んでいることも多く、比較的解けていましたが、「融資」や「金融経済常識」の面では、
得点率が40%を超えることは難しい状態でした。

なので、まず、「融資」の科目から取り組むことにしました。

「融資」は、一通り読んだだけでは理解できず、計算問題もあることから、**ノートにまとめ、
計算をひたすら解く**ことをしました。大事な単語や計算式にはマーカーで線を引き、**分からない
言葉や問題が出てきた時には、職場の上司の方に聞いて解決**しました。

「金融経済常識」は、普段から**テレビや新聞を読んだり、スマートフォンのニュースを見
たり**などして知識をつけ、**過去問を解いて出てきそうな問題を予想してノートにまとめて
いきました。**

試験の2週間前からは過去問を解くことに集中し、**できなかった問題は同じような問題を
問題集から探して何度も解き、日を改めて、もう一度試験問題を解い**たりしていきまし
た。

「預金」「為替・手形交換」は最初の時に行っていた、線を引いた箇所を暗記するくらい熟読しまし
た。

私は長時間勉強をすることが苦手なので、短時間で集中して取り組んでいきました。集中力が切
れた時は無理をせずに、やる気が起きたら勉強をするような形でした。仕事をしながらの勉強は、
学生の時とは違ってなかなか時間が取れないと思いますが、**仕事のお昼休みや、休みの日、寝
る前の数時間や数十分を使って勉強**していくのがよいと思います。

色々と書きましたが、あくまで個人の意見ですので、自分にとって効率のいい勉強方法を見つけ
ていただければと思います。少しでも参考になれば幸いです。これから受験される方は全力を尽く
して頑張ってください。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2：自分に合った学習方法を見つけましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記だけで
なく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その3：計算問題は、慣れも重要です。問題集の解説や通信講座のテキスト等で要素・公式を理
解し、繰り返し問題を解いてみましょう。
- その4：周囲のサポートも大切です。理解できない点は、勇気を出して聞いてみましょう。

＜時間を決めてコツコツと、すきま時間にはeラーニングを活用＞

- eラーニングを活用
- ノート等を活用
- 苦手科目：融資

東京地区 E信用金庫 入庫2年目 女性職員

私は入庫2年目で、現在窓口業務を担当しています。これまで受講した通信講座は「預金講座」「融資講座」「為替・手形交換講座」です。今年度は「年金講座」「企業分析講座」を受講しています。

私が試験勉強を始めた時期は、試験の約2か月前からです。去年は試験の2、3週間前からの短期集中型の勉強方法により不合格だった反省を生かし、2か月前から毎日少しずつコツコツ勉強をしました。学習時間は1日30分～1時間程度で、平日は仕事を終え帰宅後すぐに机に向かうことを心掛けました。

勉強法は、主にeラーニングを活用しました。eラーニングの利点として携帯電話でも利用することができるため、自宅でゆっくり勉強する時間が無いときは、電車や空いている時間を効率的に使い、5分でも10分でも問題を解きました。また、自宅ではパソコンと問題集、通信講座のテキストも合わせて活用し、eラーニングでよく分からなかった箇所や、理解できなかったところは、そのままにせず、必ず問題集の解説やテキストで確認しました。eラーニングには、通信講座の単位別に分かれている一問一答と過去問題がありますが、試験の2週間前までは単位別の一問一答に集中し、それぞれの正答率を上げることを目標に取り組みました。業務未経験の融資に関しては、分からない問題も多く正答率も低かったため、特に時間をかけて勉強し、理解をしながら、繰り返し問題を解いていきました。

そして、試験2週間前からは過去問題を中心に取り組みました。合格点が取れない分野は一問一答に戻り勉強していき、確実に理解するように心掛け、合格点が取れた分野もさらに正解率を上げるよう何度も問題に取り組み、それが自信に繋がりました。また、特に難しいと思っただ問題は要点をまとめてノートに書き出し、テスト直前に確認できるようにしました。

今回の試験勉強を振り返り、私は去年の反省点を生かし、毎日コツコツ型で勉強に取り組んだことで、無理なく勉強ができ、難しいところも十分に時間をかけて勉強することができ、よい結果を出すことができました。このように自分に合った勉強法を見つけることが、合格への近道だと思います。全信協実務試験で得た知識を無駄にせず、毎日の実務に役立てていきたいと思っています。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：時間を決めて取り組みましょう。すきま時間の活用には、eラーニングがおすすめです。
- その2：分からない箇所をそのままにせず、テキスト・問題集の解説等でしっかり理解しましょう。
- その3：自分に合った学習方法を見つけましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その4：多くの学習時間が取れなくても、コツコツ取り組めば結果はついてきます。

<育児をしながら時間を捻出、科目ごとに方法を変えて学習>

- 育児と学習を両立
- 苦手科目：融資
金融経済常識

関東地区 F 信用金庫 入庫 8 年目 女性職員

私は入庫 8 年目で、2 度産休・育休を取得しており、現在は 2 度目の育休中です。これまでに出勤、為替、窓口業務を経験してきましたが、窓口業務経験が圧倒的に長く、知識に偏りを感じていました。当金庫では基礎実務試験が昇格条件のひとつであり、担当業務以外にもバランスよく知識を身に付けることが必要であると感じ、受験することにしました。

私が**勉強を開始したのは、試験の約 1 か月前**でした。

まずは「基礎実務試験問題集」を一通り解き、自分の知識を試すことから始めました。基礎実務試験では、総合得点 60 点以上で各科目の得点率が 40% 以上という合格基準をクリアしなくてはなりません。この時点では、業務経験のある「預金」、「為替・手形交換」は得点率が高かったのですが、業務未経験の「融資」と日常業務になじみのない「金融経済常識」は合格基準をなんとか超える程度でした。**科目ごとに勉強方法を考え、問題集を中心に勉強**を始めました。

「預金」、「為替・手形交換」は、**問題集を繰り返し解いて**足りない知識を補い、「融資」は以前**受講したテキストを見返してポイントを復習**しました。「金融経済常識」は**問題集を解くとともに、最近の経済についてテレビやインターネットから意識して情報収集**しました。問題集を何度も繰り返し解き、曖昧な問題は都度確かに理解することで、正確な知識が身に着いたように思います。

私には、2 歳と 0 歳の子供がいます。思い通りに勉強が進まないことも多くありました。家事を片付けてようやく勉強に取り掛かっても、子供が起きたり、泣いたり、体調を崩し看病したり…。**家事や育児に追われる中、自分の勉強時間を捻出するのは大変でしたが、今だけと割り切って気長に取り組み**ました。充実した時間が過ごせたと思っています。今後とも様々な知識を習得し、業務に活かしていきたいです。

最後に、受験者の皆様が、基礎実務試験の知識を習得しご活躍されることをお祈りします。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その 1：実務試験では、各科目バランスよく知識を習得する必要があります。自分の得意・不得意を見つけることで、より効率的な学習計画を立てることができます。
- その 2：自分に合った学習方法を見つけましょう。科目ごとにメリハリをつけることで、効率的に学習できます。
- その 3：分からない用語や取扱いは、テキスト・問題集の解説等でしっかり理解しましょう。
- その 4：仕事・育児・家事等、学習時間が限られていても、コツコツ取り組めば結果はついてきます。また、無理なく取り組むことが重要です。

＜分からない部分に注力し、より効率的に学習＞

- eラーニングを活用
- ノート等を活用

北陸地区 G信用金庫 入庫1年目 男性職員

私は、入庫1年目で、現在得意先係を担当しています。

これまで受講した通信講座は、「初級職員講座」、「預金講座」、「為替・手形交換講座」です。そして、「融資講座」を受講しながら、基礎実務試験にのぞむことになりました。

私が試験**勉強を始めた時期は、試験日の3週間くらい前**でした。

そこで最初に取り組んだこととして、**eラーニング**というWEBで過去問題を解ける教材**を活用**しました。これは、「預金」、「融資」、「為替・手形交換」、「金融経済常識」それぞれの項目別に○×形式で過去問題を解くことができ、また、過去3年間の問題をランダムで解ける一問一答もあるので1つの項目について集中して取り組むことができました。

そして、そこで**分からなかったところをノートに書きだし**、何回も見直しました。WEBでは正答率が出てくるので、正答率の低かった「融資」と「為替・手形交換」を、特に時間をかけて問題を繰り返して解き、理解を深めていきました。

「融資」に関しては、通信講座で勉強しているところでもあったので、そこも参考にしながら取り組みました。また、**計算問題**に関しては、**式を覚えれば解ける問題が多かったので、すべて覚える**ようにしました。「預金」は実務でも関わることが多く、また「金融経済常識」は、大学でも経済について勉強しており、正答率が高かったので、あまり時間をかけませんでした。

私の場合、**わかるところには時間をかけず、分からないところに多く時間をかけることで効率よく勉強**をしていきました。そして、試験1週間前に**問題集で実際の問題形式に慣れ**ていきました。**分からなかったところにはマーカーを引き、そのページに付箋を付けて**いきました。そして**何度も見直**しました。

勉強方法にはそれぞれにあったやり方があると思うので正解はないと思います。なので、いろいろな人の方法を参考にしていけばいいと思います。

私は、基礎実務で得た知識をこれからの業務で発揮していきたいと思います。そして、これらかも向上心を持って知識を身に付けていき、業務に取り組んでいきたいと思います。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：自分に合った学習方法を見つけましょう。科目ごとにメリハリをつけることで、効率的に学習できます。
- その2：計算問題は、慣れも重要です。問題集の解説や通信講座のテキスト等で要素・公式を理解し、繰り返し問題を解いてみましょう。
- その3：苦手科目はポイントを絞るなど、自分なりに工夫して取り組みましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記に役立つだけでなく、試験直前まで見直しができます。

<一問一問しっかり理解し、知識を習得>

- eラーニングを活用
- ノート等を活用
- 苦手科目：融資

北陸地区 G信用金庫 入庫3年目 女性職員

私は、現在入庫3年目で為替係を担当しています。基礎実務は入庫1年目に受験しましたが、当時は勉強不足で合格には一步及ばず、そのため今回はなんとしても受かりたいという気持ちで勉強しました。

私が試験**勉強を始めたのは、試験日の約1か月前から**です。

総合得点60点以上で各科目の得点率が40%以上という合格基準が設定されているため、苦手科目があっただけではいけません。そのため、私は特に日常業務で馴染みのない「融資」科目から勉強することにしました。また、普段から業務で馴染みのある「預金」「為替・手形交換」には時間を割かず勉強することにしました。

試験勉強は、**まず基礎実務問題集を解いてみることから始め**ました。

「融資」に関しては、最初は問題を読んでも、解説を読んでも理解できないことがたくさんありました。そのため、**分からない用語等はノートに書き出し、ネットでその意味を調べ理解するよう努めた**結果、徐々に、意味が分かれば問題も解説もしっかり頭に入ってくるようになりました。

今までは付け焼き刃の勉強で「この前も同じような問題解いたはずなのに・・・」「問い方が変わったら解けない・・・」という経験が何度もあったため、**一問一問しっかり理解しながら進める**ことを今回の勉強では大切にしました。また、「融資」には**計算問題**もあり、私は特に苦手意識を持っていましたが、**しっかり計算式を覚える**ことでその問題にも対応できるようになりました。

「預金」「為替・手形交換」については実務と重なるところも多かったのですが、いざ問題集を解いてみるとあやふやな点もいくつかあったので、**確実に解けるよう解説を読み込み**ました。こうした勉強を続けることで新たな発見にもなり、知識が増えていくのが嬉しかったです。

「金融経済常識」については、**問題集はもちろんのこと、ニュース等をしっかりチェック**し知識を補うようにしました。

こうして**1か月の前半は問題集を3周ほどし、平日は1時間ほど、休日は2～3時間ほど勉強**しました。そして**後半はeラーニングでの勉強を中心**としていきました。

eラーニングは主に自宅のパソコンから学習していました。テキストの問題集と違い、答えがすぐ分からないというのが利点で、**力試しとして用いて**いました。すべての問題が満点となるまで繰り返し学習しました。また、ランダムで問題が出題されるため、ある程度雰囲気分かっているものも、いつも新鮮な気持ちで勉強することができました。

今回の試験勉強を振り返ってみて、1か月という短い期間でしたが中身の濃い勉強ができたと思います。この勉強して得た知識を試験だけでなく実務にも活かしていきたいです。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2：苦手科目はポイントを絞るなど、自分なりに工夫して取り組みましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記に役立つだけでなく、試験直前まで見直しができます。
- その3：計算問題は、慣れも重要です。問題集の解説や通信講座のテキスト等で要素・公式を理解し、繰り返し問題を解いてみましょう。
- その4：分からない箇所は、テキスト・問題集の解説等でしっかり理解しましょう。

< eラーニングを活用し、短時間集中型で効率よく学習 >

- eラーニングを活用
- 苦手科目：為替・手形交換

東海地区 H信用金庫 入庫1年目 男性職員

私は現在入庫1年目で、営業係を担当しております。入庫してから基礎実務試験を受験するまでの間に「初級職員講座」「為替・手形交換講座」等の通信教育を合計4講座受講しました。これらの通信講座をしっかりと受講していれば、あえて試験対策をする必要はなかったかもしれませんが、なかなか理解を深めることができませんでした。自分なりにどうしたら「基礎実務試験」に合格できるかを考え、**約2か月前から**試験対策の勉強を始めました。

勉強は短時間集中型の方がよいと耳にすることがあります。私も学生時代、何度か試したことがあります。結果としてただらと勉強する時間だけが過ぎてしまい、自分自身の身に付いていなかったという経験がありました。今回の試験では入庫してから始まった半年間の通信教育の内容からも短期間の学習で理解することは容易ではないと感じていました。だからと言って、時間ばかりかける勉強は避けたいところでした。

私はある程度余裕を持った時期から**短時間集中型**での勉強に取り組みました。**1日あたりの平均勉強時間としては約1時間程度**です。私は長時間集中して勉強を続けることが苦手なため、今回使用した**「eラーニング」はとても使い勝手がよく便利**でした。基礎実務試験の問題集を見た時、これは一度解いただけでは到底理解できる質量ではないと感じていました。50問×過去4年分で合計200問あります。私は一問一問を確実に理解する必要があると思い、**1時間に10問程度を目標**に勉強を進めました。

始めに、日常業務ではあまり馴染みの無い「為替・手形交換」から取りかかりました。最初は問題文でさえ何を意味しているか理解できない状態でした。そこで、**一言一句分からない言葉をインターネット等で調べ完璧に理解**するように努めました。分からない言葉をそのままにして曖昧に覚えていると類似した問題が出題された場合、選択肢を二つまで絞れますがそこから迷いが生じてしまいます。**間違えた問題の解説は何度も読み返し**頭にたたき込みました。

「金融経済常識」については、上司や先輩から**ニュースや新聞の経済紙面に興味を持ち積極的に調べる習慣を身に付け**れば問題は無いとアドバイスをいただき実践しました。

以上の様に勉強を進め、その日解いた問題箇所をeラーニングで選択してテスト感覚として使っていました。問題集と違い、スマートフォンがあれば、場所を問わず、空き時間にも学習することができました。問題に対し回答した後の解説も閲覧できるため、テキストを持ち歩く必要がなく、大変有意義な勉強方法でした。この勉強方法で、迎えた基礎実務試験で私は94点という得点で合格することができました。得られた知識を日常業務に活かせるようこれからも試験を含めた自己啓発に努めます。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：時間を決めて取り組みましょう。すきま時間の活用には、eラーニングがおすすめです。
- その2：分からない用語は、インターネット等で調べ、しっかり理解しましょう。基礎的な知識があれば、試験中回答に迷った際、選択肢を絞り込むことができます。
- その3：問題を解くことで出題傾向が見えてきます。eラーニングの「一問一答」を活用することで、より効果的に学習することができます。

＜育児をしながら時間を捻出、ポイントを絞って学習＞

- 育児と学習を両立
- eラーニングを活用
- ノート等を活用
- 苦手科目：融資

近畿地区 I 信用金庫 入庫7年目 女性職員

①試験勉強を開始した時期

試験**勉強は1か月ほど前から**始めました。

これまで3回ほど基礎実務試験を受験し不合格になっていたことから、今回は少なくとも1か月前から始めようと計画していました。

②1日の平均学習時間

1日の平均学習時間は30分程度です。**毎日の通勤時間に必ず勉強する**ようにしました。育児に時間がかかるので、試験2週間前までは、通勤時間しか勉強にあてることができませんでした。限られた時間の中で勉強しなければいけないので、自ずと集中できたと思います。通勤時間はつつい携帯をいじったり、ぼんやりとしていたので、隙間時間を見つけては少しでも勉強をするようにしました。

試験2週間前からは、2歳の**一人娘を寝かしつけた後に起きて、30分から1時間程度**勉強していました。子供を寝かしつけているとそのまま自分も眠ってしまうことが多かったので起きるのは辛かったです。

③学習スケジュール

1か月前から始め、融資分野から始めました。

その後、金融経済分野の問題を解き、できるだけ色々な問題に触れ、ニュース等もチェックするようにしました。新聞は見えていなかったため、**携帯のニュースや、朝のテレビの経済関係ニュース**を見るようにしました。

④具体的な学習方法

過去問題を解くことから始めましたが、上述の通り何度も試験を受けているので、だいたいどのような観点で、どこを覚えなければいけないかわかっていました。**過去問題を解きながら、自分の苦手な分野や、問題はノートにまとめる**ようにしました。私は融資の分野がよくわからなかったため、**融資の分野から始めました**。毎年同じような問題が出てくるので、**試験問題を分野に分け、苦手な問題に関しては、過去問題の年度を変えて、繰り返し解き**ました。

通勤時間は電車が混んでいるので、ノートをまとめたり過去問題を開いたりではできなかったため、**eラーニングの一问一答を練習し、キーワードを拾って、覚える**ようにしました。

金融経済分野の問題は毎年色々な問題が出てくるので、たくさん問題に触れるためにeラーニングの一问一答形式はとても役に立ったと思います。

為替・手形分野と預金の分野は、ある程度の知識はあるものの、実務とは少し違うところもあり、この分野に関しても、**間違えやすいところはノートにまとめ、年度ごとの試験問題の番号を書き、覚えているか確認する際にその問題を解く**ようにしました。

⑤試験問題を振り返っての感想等

育児と仕事との両立で、勉強時間は今まで以上に確保できなくなりました。

限られた時間でやらなければいけない、今年中に合格したいと気持ちを引き締めて、集中したことで、ただだと勉強することなく短期間で学習できたのではないかと思います。苦手な融資分野から始めたことで、今までのように時間が無くなり、過去問題を全部解かずに終わるということではなかったのだと思います。

試験本番中も**解いたことのない問題が出たりすることもあります、基礎的な知識があれば、選択肢は絞れる**ことに気づいたので、本番中にわからないことが出てきても諦めずに頑張りました。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：仕事・育児・家事等、まとまった学習時間が確保できないときは、すきま時間を活用しましょう。その際、eラーニングによる学習がおすすめです。
- その2：分からない箇所は、テキスト・問題集の解説等でしっかり理解しましょう。基礎的な知識があれば、試験中回答に迷った際、選択肢を絞り込むことができます。
- その3：問題を解くことで出題傾向が見えてきます。eラーニングの「一問一答」を活用することで、より効果的に学習することができます。
- その4：苦手科目はポイントを絞るなど、自分なりに工夫して取り組みましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記に役立つだけでなく、試験直前まで見直しができます。